



9月9日は救急の日です。昭和57年に厚生労働省によって定められました。ご存知でしたか。救急の日について考えてみましょう。



救急とは、急に病気になった人やケガをした人に応急処置をすることです。

特に子どもは急に症状が現れたり、急に病状が悪化したりします。また、思わぬケガをすることがあるため、救急箱の点検や居住地の救急病院の確認、救急車を要請する手順など再確認する日にしてはどうでしょうか。



救急車を呼ぶ前に…

救急車を呼ぶべきか悩みますよね。判断に困ったときは東京消防庁救急相談センターに連絡しましょう。

携帯、PHS、プッシュ回線の場合

小児の場合：#8000

成人の場合：#7119

その他の場合（多摩地区）

042(521)2323



救急車を呼ぶ場合

1 119 番しましょう

コールセンターの方の質問に慌てず答えましょう

2 準備をしましょう

診察券、保険証、医療証、お薬手帳、母子手帳

お金、タオル、着替え、靴 など

4 救急車が到着したら

救急隊の方の質問に慌てず答えましょう

☆ まずは落ち着くことが大切です。大きく深呼吸するなどしてください。

☆ 一人で対応するのは難しいでしょう。周りの人に助けを求めすることも大切です。

☆ 救急車が到着するまでの間、できるだけであれば応急処置を行いましょう。

こどもの救急（ONLAIN QQ）

『こどもの救急』では、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうかの判断の目安に提供されたサイトです。（最終的判断はご家族様自身でお願いしますとのことです。）

画面左上にある『気になる症状』を選択すると次に具体的な症状がでます。該当する全ての項目にチェックをし『結果をみる』を押すと、お子さんの症状に合わせた対処法が表示されます。

監修：厚生労働省研究班

日本小児科学会

この機会に救命講習を受けてみてはいかがでしょうか。最寄りの消防署にお問い合わせください。



横断歩道の渡り方を学びましょう。



道路に飛び出すと危険です。

園医のひと言

手足口病で受診するお子さんが減ってきました。現在は数人ですが水ぼうそうで受診したお子さんがいます。

9月6日付

